

令和8年度 「英語コミュニケーション I」学習指導計画

学科	全学科		学年	I	履修	必修	
教科	英語	科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3	時数	105
教科書名(発行所)	『Power On English Communication I Revised』(東京書籍)		副教材(発行所)	『Power On English Communication I Revisedスタディノート』(東京書籍)			
目標	<p>日常的・社会的な話題について,多くの支援を活用すれば、</p> <p>①必要な情報を聴き取り,話しての意図を把握したり,概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>②必要な情報を読み取り,聞き手の意図を把握したり,概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>③基本的な語句や文を用いて,情報や考え,気持ちなどを話して伝え合うやり方を続けたり,論理性に注意して伝え合ったりすることができる。</p> <p>④基本的な語句や文を用いて,情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>⑤基本的な語句や文を用いて,情報や考え,気持ちなどを論理生に注意して文章を書いて伝えることができる。</p>						

(注) 評価の観点とは、I「知識・技能」II「思考・判断・表現」III「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法	
					I	II	III			
1	4	[題材内容] 外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介するALTの話	Lesson 1 Japan's New Tourism	[言語材料] 動詞の現在形・過去形, 進行形, 助動詞+動詞の原形 [言語の働き] 質問する, 説明する, 紹介する, 発表する	○		○	13		
	5				○	○	○			14
	6				○	○	○			
2	7	[題材内容] 生き物が光る理由や, その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。	Lesson 2 Light from Creatures	[言語材料] 受け身, 現在完了形, 現在完了進行形 [言語の働き] 質問する, 説明する, 理由を述べる, 発表する	○		○	24	・単元ごとの課題 ・ロ答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠状況	
	8				○	○	○			
	9				○	○	○			
2	10	[題材内容] 米国の大リーグで活躍する吉田正尚選手についての新聞記事	Lesson 3 One Small Goal at a Time	[言語材料] 不定詞, S+V+O[that節], 動名詞 [言語の働き] 説明する, 理由を述べる, 紹介する, 発表する, 説得する, 意見を述べる	○		○	24	・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。	
	11				○	○	○			
	12				○		○			
3	1	[題材内容] バナナペーパーがザンビアの村の人々の暮らしに与えた変化と、日本の伝統技術貢献に関するALTIによる講義	Lesson 5 Banana Paper	[言語材料] 関係代名詞(主格), 関係代名詞(目的格), S+seem+to不定詞 [言語の働き] 質問する, 説明する, 理由を述べる, 注意をひく	○	○	○	30		
	2				○	○	○			
	3				○	○	○			

105

【観別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観別合計	評価の比重
I 知識・技能	10	10		60	10		10					100	40
II 思考・判断・表現		10		60	10		10		10			100	40
III 主体的に学習に取り組む態度	20	10		10			30	10	10		10	100	20
評価の重点	①授業や演習に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果 ③提出課題												

令和8年度 「英語コミュニケーションⅡ」学習指導計画

学科	全学科		学年	2	履修	必修	
教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3	時数	105
教科書名(発行所)	『Power On English Communication II』(東京書籍)		副教材(発行所)	『Power On English Communication II スタディノート』(東京書籍)			
目標	①生徒に身近な話題や生徒の知識、教養を広める分野について、異文化の理解や必要な情報を得たり、英語を聞いたり、読解を通して英語の基礎的な理解力を高める。 ②基礎的な文法事項を理解し、単語力をつけ、英文を読み進める力を養う。 ③英語で積極的に自分の考えを伝えるためコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけさせる。						

(注) 評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	[題材内容] ザンビアのバナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義	Lesson 5 Banana Paper	[言語材料] 関係代名詞(主格), 関係代名詞(目的格), S+seem+to不定詞 [言語の働き] 質問する, 説明する, 理由を述べる, 誘う	○		○	13	
	5	[題材内容] 人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	[言語材料] It+be動詞+形容詞+that節, S+V[be動詞以外+C], S+V+O+C[形容詞] [言語の働き] 質問する, 説明する, 発表する, 提案する	○	○	○	14	
	7	[題材内容] プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文	Lesson 7 No Plastic or No Future	[言語材料] 関係副詞where, 関係副詞when, 関係代名詞what [言語の働き] 質問する, 理由を述べる, 描写する, 説明する, 発表する, 報告する	○		○	24	
	8	[題材内容] イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表	Lesson 8 Oh My Cod!	[言語材料] 現在分詞の分詞構文, 関係代名詞の非制限用法, 過去完了形 [言語の働き] 質問する, 説明する, 報告する, 発表する	○	○	○		
2	9	[題材内容] 世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	[言語材料] S+V[知覚]+O+[現在分詞, 原形不定詞], S+V[使役]+O+C[原形不定詞], S+V+O; +O₂[ifなどの節] [言語の働き] 質問する, 理由を述べる, 意見を言う, 説得する, 発表する	○		○	24	
	10	[題材内容] 写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	[言語材料] wish+仮定法過去の節, 仮定法過去のas if節, 仮定法過去のif節 説明する, 仮定する, 意見を言う, 発表する, 報告する[言語材料] wish+仮定法過去の節, 仮定法過去のas if節, 仮定法過去のif節	○		○		
	11	[題材内容] 2019年に引退を表明したイチローに宛てた, あるチームメイトからの手紙	Optional Reading THANK YOU, ICHIRO	[言語材料] 既習事項 [言語の働き] 説明する, 理由を述べる, 共感する [技能]筆者の気持ちを追いつながら, 必要な情報, 書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 論理性に注意して手紙を読んだ感想を論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。	○	○	○		
3	1				○		○	30	
	2				○		○		
	3				○		○		

105

【観別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	10	10		60	10		10					100	40
Ⅱ 思考・判断・表現		10		60	10		10		10			100	40
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	20	10		10			30	10	10		10	100	20
評価の重点	①授業や演習に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果 ③提出課題												

令和8年度 「英語コミュニケーションII」学習指導計画

学科	メカニカル工学科・電気科・建築科		学年	3	単位数	2	履修	必修
教科	英語		科目名	英語コミュニケーションII		時数	70	
教科書名(発行所)	『Power On English Communication II』(東京書籍)		副教材(発行所)	Power On English Communication II スタディノート』(東京書籍)				
目標	①幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ②幅広い話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ③幅広い話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。							

(注) 評価の観点は、I「知識・技能」 II「思考・判断・表現」 III「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	[題材内容] ストリートピアノについての テレビレポート [言語の働き] 説明する、報告する、紹介 する、発表する	Lesson 1 Play Me, I'm Yours	助動詞+動詞原形、受け身、S+V[be動詞以外]+C	○		○	12	・単元ごとの 課題 ・ロ答による 重要事項の 確認 ・授業に取組む 姿勢、意欲、 出欠状況 ・定期考査・実力 テスト 以上を点数化し、 総合的に評価す る。
	5	[題材内容] 現代のファッション業界に ついてのニュース記事。 ファストファッションの問題 点やエシカルファッション について考える。 [言語の働き] 説明する、理由を述べる、 紹介する、発表する	Lesson 2 Ethical Fashion	S+V+O+C[形容詞], S+V[使役動詞]+O+C[原形不定詞]	○	○	○	16	
2	8	[題材内容] ラグビー選手のリーチ・マ イケル選手へのインタ ビュー [言語の働き] 質問する、説明する、紹介 する、感謝する	Lesson 3 One for All, All for One	現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節	○		○	14	
	9	[題材内容] 日本の自動販売機につい てのオンライン記事 [言語の働き] 説明する、紹介する、意見 を述べる、発表する、質問 する	Lesson 4 Vending Machines	関係代名詞(主格), 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格)	○	○	○	16	
3	12	[題材内容] ユニバーサルデザインの フロント、フレイルノイエをその開発 者の高橋鴻介氏へのインタビューに ついての雑誌記事 [言語の働き] 質問する、例示する、提案する、発表 する	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	助動詞+受け身、S+V+C[分詞], S+V+O[if節], It+seems [appears]+that 節					
	1	[題材内容] 2024年に新しく発行 される紙幣にまつわる話やキャッ シュレス化についてのオンライン記事 [言語の働き] 説明する、意見を述 べる、賛成する、反対する、発表する、質 問する	Lesson 6 New Banknotes	It is [was] said that 節、形式目的語itとthat節、形式目的語itとto 不定詞、助動詞+have+過去分詞	○	○	○	12	
	2								
	3								

70

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・ 小テスト	ノート・ レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
I 知識・技能	10	10		60	10		10					100	40
II 思考・判断・表現		10		60	10		10	10				100	40
III 主体的に学習に取り組む態度	20	10		10			30	10	10		10	100	20
評価の重点	①授業や演習に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果 ③提出課題												

令和8年度 「英語コミュニケーションⅡ」学習指導計画

学科	商業科・生活福祉科・食物栄養科			学年	3	単位数	3	履修	必修
教科	英語		科目名	英語コミュニケーションⅡ			時数	105	
教科書名（発行所）	『Power On English Communication II』（東京書籍）			副教材（発行所）	『Power On English Communication II スタディノート』（東京書籍）				
目標	①幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ②幅広い話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ③幅広い話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。								

（注）評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元	単元の目標 （具体的目標）	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	[題材内容] ストリートピアノについての テレビレポート [言語の働き] 説明する、報告する、紹介 する、発表する	Lesson 1 Play Me, I'm Yours	助動詞+動詞原形、受け身、S+V[be動詞以外]+C	○		○	19	
	5								
1	6	[題材内容] 現代のファッション業界に ついてのニュース記事。 ファストファッションの問題 点やエシカルファッション について考える。 [言語の働き] 説明する、理由を述べる、 紹介する、発表する	Lesson 2 Ethical Fashion	S+V+O+C[形容詞], S+V[使役動詞]+O+C[原形不定詞]	○	○	○	24	・単元ごとの 課題
	7								
2	8	[題材内容] ラグビー選手のリーチ・マ イケル選手へのインタ ビュー [言語の働き] 質問する、説明する、紹介 する、感謝する	Lesson 3 One for All, All for One	現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節	○		○	22	・ロ答による 重要事項の 確認 ・授業に取組む 姿勢、意欲、 出欠状況
	9								
2	10	[題材内容] 日本の自動販売機につい てのオンライン記事 [言語の働き] 説明する、紹介する、意見 を述べる、発表する、質問 する	Lesson 4 Vending Machines	関係代名詞(主格),関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格)	○	○	○	24	・長期休業中の 課題 ・定期考査・実カ テスト 以上を点数化し、 総合的に評価す る。
	11								
3	12	[題材内容]ユニバーサルデザイ ンのフォント、ブレイルノイエをその開発 者の高橋鴻介氏へのインタビューに ついての雑誌記事 [言語の働き]質 問する、例示する、提案する、発表す る	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	助動詞+受け身、S+V+C[分詞],S+V+O[if節], It+seems [appears]+that 節				16	
	1	[題材内容] 2024年に新しく発行さ れる紙幣にまつわる話やキャッシュレ ス化についてのオンライン記事 [言 語の働き]説明する、意見を述べる、 賛成する、反対する、発表する、質問 する	Lesson 6 New Banknotes	It is [was] said that 節、形式目的語itとthat節、形式目的語itとto 不定詞、助動詞+have+過去分詞	○	○	○		
	2								
	3								

105

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・ 小テスト	ノート・ レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	10	10		60	10		10					100	40
Ⅱ 思考・判断・表現		10		60	10		10		10			100	40
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	20	10		10			30	10	10		10	100	20
評価の重点	①授業や演習に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果 ③提出課題												

令和8年度 「上級英語」学習指導計画

学科	商業科・生活福祉科・食物栄養科			学年	3	単位数	2	履修	学校設定科目
教科	英語	科目名	上級英語				時数	70	
教材名(発行所)	『音でマスター英語構文90』(桐原書店編集部)								
目標	「英語コミュニケーションII」で学ぶ内容を更に深化させて、英文理解力を向上させるため、重要な90の構文を習得することを目的とする。「英文を作成する」、「英文を読んで理解する」、「英語音声を聴く」ことを通じ、進路志望実現へ向けて、且つ、進路決定後も進学先での授業に対応できる総合的な英語力をつけることを目標とする。								

(注)評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	学習内容	単元	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	Itを含む構文	・It・・・for～to～構文 ・It・・・of～to～構文 ・find it・・・to～ ・take it for grantedなど。	It(It)を含む構文を学習し、英文を理解する。Itを含む英文を聴き取り、書けるようにする。	○		○	12	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠状況
	5	不定詞を含む構文	・how to～ ・something to・・・ ・too・・・to ・enough to～ など。	不定詞を含む構文を学習し、英文を理解する。不定詞を含む英文を聴き取り、書けるようにする。					
	6	動名詞を含む構文	・look forward to・・・ing ・be used to・・・ing ・without・・・ing ・keep・・・from～ing など。	動名詞を含む構文を学習し、英文を理解する。動名詞を含む英文を聴き取り、書けるようにする。	○	○	○	16	
	7	分詞を含む構文	・名詞を修飾する分詞 ・see～・・・ing ・make oneself understood ・have～+過去分詞 など。	分詞を含む構文を学習し、英文を理解する。分詞を含む英文を聴き取り、書けるようにする。					
2	8	関係詞を含む構文	・関係代名詞 主格 ・関係代名詞 所有格 ・関係代名詞 目的格の省略 ・what～～すること・するもの など。	関係詞を含む構文を学習し、英文を理解する。関係詞を含む英文を聴き取り、書けるようにする。	○		○	14	・長期休業中の課題 ・定期考査・実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	9	否定語を含む構文	・neither A nor B ・cannot・・・too～ ・It will not be long before・・・ ・never..without～ing など。	否定語を含む構文を学習し、英文を理解する。否定語を含む英文を聴き取り、書けるようにする。					
	10	条件構文	・If +現在形、未来を表す表現 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・もし(今)・・・がなかったら、など。	条件構文を含む構文を学習し、英文を理解する。条件構文を含む英文を聴き取り、書けるようにする。	○	○	○	16	
	11	接続詞を含む構文	・not only A but (also) B ・unless・・・ ・so・・・that～ ・such a +形容詞+that～ など。	接続詞を含む構文を学習し、英文を理解する。接続詞を含む英文を聴き取り、書けるようにする。					
3	12	比較構文	・・・・times as +原級+as A ・as+原級+as <人>can ・The +比較級... the+比較級～ ・比較級+and+比較級など。	比較を含む構文を学習し、英文を理解する。比較を含む英文を聴き取り、書けるようにする。					
	1	その他の構文	・関係疑問 ・make・・・ (A)・・・walk ・had betterなど。	その他の構文を含む英文を学習し、理解する。それらの英文を聴き取り、書けるようにする。	○	○	○	12	
	2								
	3								

70

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	25	20		40	15							100	25
Ⅱ 思考・判断・表現				30			40		30			100	25
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度				15			40	5	30	10		100	50
評価の重点	①授業や演習に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果 ③提出課題												